



校長 岡本 裕之

# 七十年の歩みに更なる発展を

全国定時制通信制高等学校は、平成九年、創立五十周年記念式典を行った。本校の歴史は、更に二十年も逆のぼる。

丸山丈作初代校長は、青少年育成の重要性を認識し、夜間に学ぶ生徒の私立学校を昭和四年に設立し、その後文部省に働きかけ、昭和十二年、府立高校とさせた。その後、どの学校よりも一早く、

定時制における給食の重要性を考えて実施させた。常に、今、何が大切なことを問い、追及する姿に真の教育者の在り方を見る思いがする。

本校が地域に果たした役割がいかに大きかったかは、その後の生徒の増加を見れば明らかである。卒業生は、戦後復興の力になり、科学技術・文化・経済発展に大きく貢

献し、現在も広い分野で活躍している。現在、少子化の中で入学する生徒は減少しているが、通学している生徒は、改めて学ぶ意義を見出し、生き生きと生活している。

定時制教育の様々な条件を更に向上させ、生徒一人一人が毎日充実感を持って学校生活を送り、二十一世紀を生き抜く基

礎的、基本的な力を身につけることができるような、学校づくりが大切と考えている。教職員は定時制教育に対する情熱は高く、結束力も強い。

青葉会七十周年記念式典を本校の新しい出発点として、生徒と共に祝い申し上げ、これからのご支援をお願い申し上げます。



教頭 天野 秀人

# 高校生の頃

私は平成元年（一九八九年）から十年間、母校である豊多摩高校に勤務し、本校に着任しました。私が豊多摩に入学したのは昭和四十一年（一九六六年）で、学校群に移行する前の年で、九科目入試最後の経験者でした。

入学したかったのですが、その当時の西は日比谷とともに余りにも巨大な存在で、とても太刀打ちできませんでした。その当時の西・豊多摩・富士の関係は、日比谷・九段・三田の關係に非常に似ていて、各校に特徴がありました。富士は第五高女の伝統を受け

継ぎ、女子の活躍が顕著で、豊多摩は旧制男子中の風土が色濃く残り、応援団長は、袴とゲタを履いて登校していました。

豊多摩は女子が少なかつたので、文化祭になると、友人達と富士高に行つたものです。後夜祭になると、男女のカップルが数メートルおきに校庭の片隅にすわっている光

景を見て、大いに羨ましく思つたことがあります。あれから三十数年、社会は大変貌を遂げましたが、伝統は生き続けるから不思議なものです。本校の定時制は、現在男子の数が優勢ですが、女子校の伝統を色濃く残しています。思いやりであり優しさです。それらを大切にしたいと思ひます。

景を見て、大いに羨ましく思つたことがあります。あれから三十数年、社会は大変貌を遂げましたが、伝統は生き続けるから不思議なものです。本校の定時制は、現在男子の数が優勢ですが、女子校の伝統を色濃く残しています。思いやりであり優しさです。それらを大切にしたいと思ひます。

景を見て、大いに羨ましく思つたことがあります。あれから三十数年、社会は大変貌を遂げましたが、伝統は生き続けるから不思議なものです。本校の定時制は、現在男子の数が優勢ですが、女子校の伝統を色濃く残しています。思いやりであり優しさです。それらを大切にしたいと思ひます。

景を見て、大いに羨ましく思つたことがあります。あれから三十数年、社会は大変貌を遂げましたが、伝統は生き続けるから不思議なものです。本校の定時制は、現在男子の数が優勢ですが、女子校の伝統を色濃く残しています。思いやりであり優しさです。それらを大切にしたいと思ひます。

# 母校の近況

## 受賞者

平成十年度  
「北原奨励賞」受賞者  
廣瀬友美  
吉本憲悟

## 北原奨励賞とは

昭和十五年から同三十八年まで本校に家庭科教師として在籍しておられた北原三代子先生（昭和五十五年八月、六十九才で御逝去）の、定時制生徒の勉学に役立てて欲しいとの御遺志により、寄贈された金百万円で北原三代子奨励基金を創設。毎年卒業生の中から優秀な生徒に対して、北原奨励賞を授けるものとした。その管理は青葉会が行なっている。毎年卒業式には青葉会会長より授与され、昭和五十八年度を第一回として平成十年

度のこれまでに二十四名の卒業生が、この賞を受けている。



## 母校の行事

平成十年度  
入学式 四月九日  
新入生24名(男19女5)  
映画会 五月一日  
遠足 五月十七日  
東京デイズニールランド



四年生修学旅行 六月二十一日から三泊四日 沖縄  
体育祭 九月二十四日  
音楽会（ピアノ演奏）十一月二十六日  
百人一首大会 一月二十一日  
卒業式 三月三日  
卒業生14名(男11女3)

## 母校職員の異動

- ◇二転出
    - 中野英雄先生(教頭 都立国際高校へ)
    - 黒沢 隆先生(英語 都立国分寺高校へ)
    - 新木要一先生(社会 都立南葛師高(定)へ)
    - 濱出雄三先生(事務長 都立広尾高校へ)
  - ◇二退職
    - 里見征子先生(用務 都立港工業高(嘱託))
    - 都立豊多摩高より
    - 品川一博先生(社会 都立南多摩高より)
    - 伊藤哲郎先生(嘱託 都立小石川高(定)より)
    - 渡辺允二先生(事務長 都立入留米高より)
  - ◇二着任
    - 天野秀人先生(教頭 都立豊多摩高より)
    - 渡辺育夫先生(英語 都立大島高より)
- なお、平成十年度より事務室、平成十一年度より用務がローテーション勤務となり、定時制の時間帯は交代での勤務となります。

